

令和4年度 学校だより 3月号 2月28日発行

横浜市中区山元町3-152  
電話 641-4857



# やまもと

横浜市立山元小学校  
校長 前島 潤

## 自分を大切にできる子 共に生きる子 山元の子

一年の終わりに向けて

校長 前島 潤

梅の花、菜の花、そして、ふきのとう。春がもうすぐ訪れることを山元の自然が告げています。冬鳥として飛来しているジョウビタキやツグミたちは、北に帰る準備を進めていることでしょう。春夏秋冬。脈々と続いていく季節の移り変わり。当たり前のことなのですが、改めて考えてみると、とても不思議なことです。

3月17日（金）。6年生61名が本校を卒業します。コロナ禍による生活様式の変化に対応しながら、高学年としてしっかり前を向いて歩んできた子どもたちです。今年度は最高学年として、1年生に入学時から関わり、人と人がつながる素晴らしさ、大切さをその姿でみんなに伝えてくれました。

2月の音楽集会では、練習を重ねてきた合唱と合奏を全校児童に向けて発表しました。けっして長くはない練習時間でしたが、心を一つにして取り組んだ成果が表れた「さすが！」の発表でした。真剣に聴いていた下学年の子どもたちは、音楽的な技能に感動するとともに、「自分たちも6年生のようになりたい。」と思ったことでしょう。音楽を通して、6年生から下学年の子どもたちにバトンが渡された一場面でした。1年生の感想です。

「きれいな歌声で、心がきれいになりました。」

2月は、幼保小交流事業ブロックの幼稚園・保育園の年長さんと1年生の交流も行われました。年長さんから1年生までの2年間で「架け橋期」と呼び、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるための重要な時期として捉え、教育の内容や方法を工夫しています。幼保小の交流もその一つです。

10月から生活科で山元保育園、そして竹之丸保育園との交流を進めてきた子どもたちが、その経験を生かして学校案内、教室体験、学習の紹介などの活動を計画し、当日の運営も行いました。年長さんとの交流を終えて、子どもたちからは、年長さん一人ひとりのよさを認める発言がたくさん出てきました。それは、年長さんがお世話してあげる存在ではなく、山元小の仲間として目に映っていたからだと思います。4月に新1年生たちを迎える心がしっかり整っているようです。

梅の花が咲き、6年生が卒業し、桜の花が咲き、1年生が入学してきます。季節の移ろいとともに、学校のストーリー、そして子どもたち一人ひとりのストーリーも流れていきます。

令和4年度の1年間が終わります。コロナ禍が続きましたが、子どもたちは多様な経験を通して素敵に成長しています。

保護者の皆様、地域の皆様、今年度も本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございました。令和5年度も、学校、家庭、地域のつながりの中で、山元の子がすくすくと成長できますよう、よろしくお願ひします。

#### 【「どこでもスタディ」について】

横浜市では、様々な理由や事情で学校に登校できない児童が、自宅等で授業に参加できるように、子ども自身が必要に応じて学ぶ方法を選ぶことができる取組を各学校で行います。本校でも令和5年度より、次の取組を行います。

#### オンラインで先生とつながろう！

- ・休み時間や放課後にオンラインで先生とやり取りができます。

#### 学習動画パッケージ、はまっ子ドリルに挑戦！

- ・学習動画やプリントをオンラインで配布し、学習を支援します。

※その他、相談に応じていきます。